

全国中小企業動向調査(小企業編)結果

(2019年7-9月期実績、10-12月期見通し)

宮城県

県内の小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[概況]

- ・ 今期の業況判断DI(全業種計)は、前回調査(2019年4月期~6月期)に比べてマイナス幅が22.0ポイント拡大し、▲46.7となった。来期については、マイナス幅が拡大し▲50.5となる見込みである。
- ・ 業種別にみると、製造業では▲7.1(前回調査7.1)とマイナスに転換、非製造業では▲52.7(前回調査▲30.1)とマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類のうち、卸売業、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業、建設業ではマイナス幅が拡大した。
- ・ 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が9.8ポイント拡大し、▲32.4となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- ・ 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が4.3ポイント拡大し、▲26.2となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

【問い合わせ先】

株式会社日本政策金融公庫仙台支店国民生活第二事業
TEL: 022-222-5377(担当: 太田)

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2019年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 145 企業
有 効 回 答 数	108 企業
有 効 回 答 率	74.5 %

< 業 種 構 成 >

		調査対象	有効回答数		
製 造 業	(従業員20人未満)	15 企業	14 企業	(構成比	13.0 %)
卸 売 業	(同 10人未満)	20 企業	15 企業	(構成比	13.9 %)
小 売 業	(同 10人未満)	36 企業	29 企業	(構成比	26.9 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	15 企業	13 企業	(構成比	12.0 %)
サ ー ビ ス 業	(同 20人未満)	33 企業	18 企業	(構成比	16.7 %)
情 報 通 信 業	(同 20人未満)	1 企業	1 企業	(構成比	0.9 %)
建 設 業	(同 20人未満)	19 企業	12 企業	(構成比	11.1 %)
運 輸 業	(同 20人未満)	6 企業	6 企業	(構成比	5.6 %)

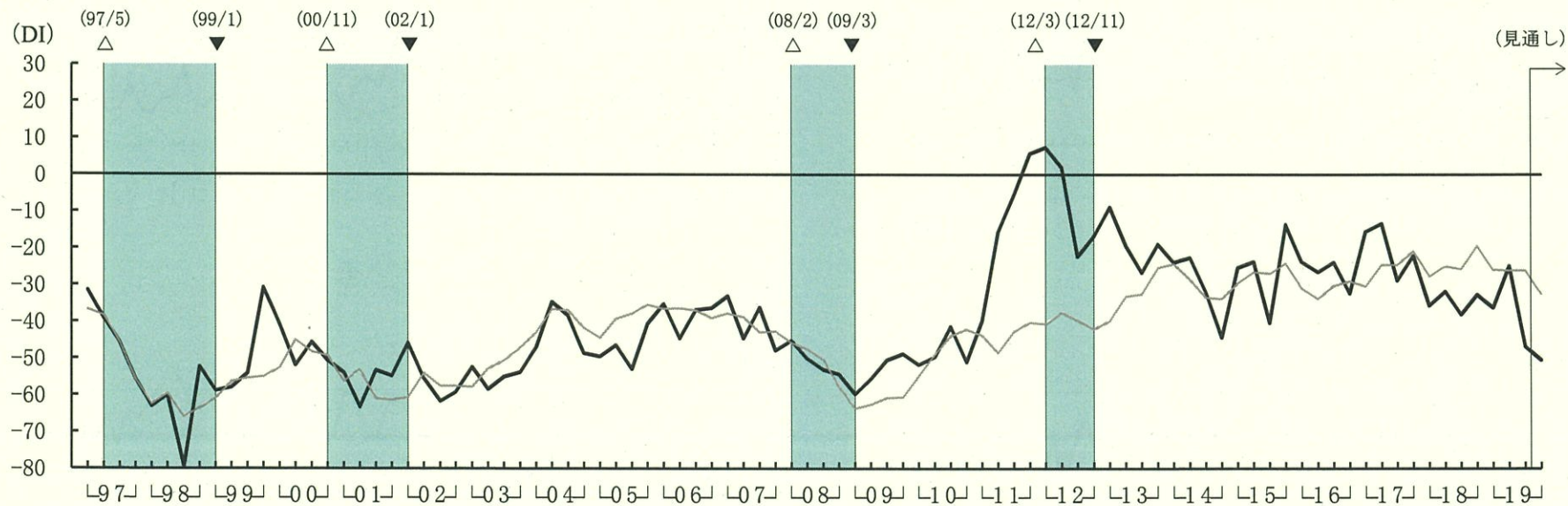
1 業況判断

○ 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査に比べてマイナス幅が22.0ポイント拡大し、▲46.7となった。来期については、マイナス幅が拡大し▲50.5となる見込みである。

○ 業種別にみると、製造業では▲7.1（前回調査7.1）とマイナスに転換、非製造業では▲52.7（前回調査▲30.1）とマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類のうち、卸売業、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

図-1-1 業況判断DIの推移（全業種計）

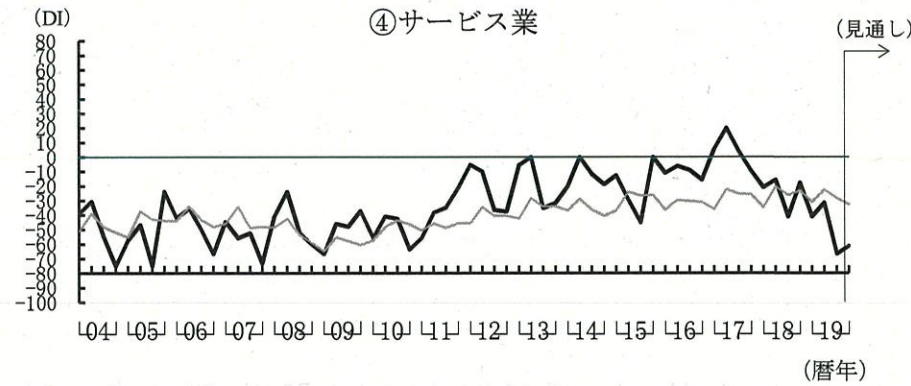
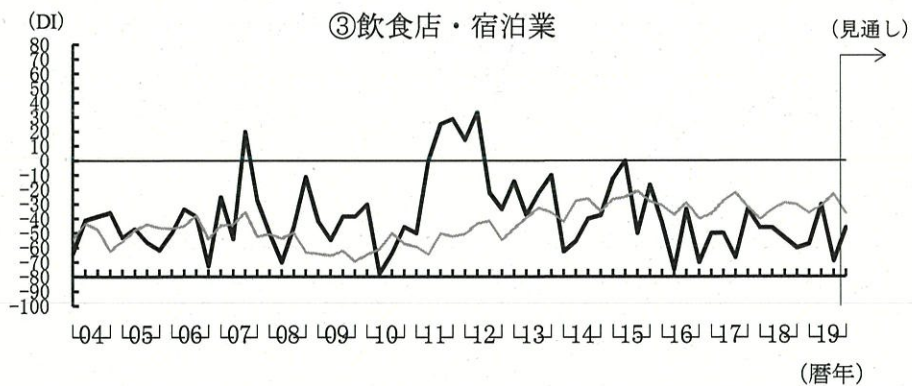
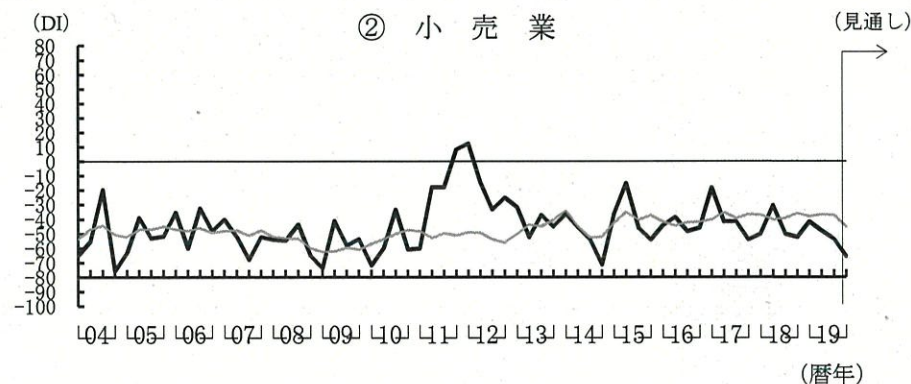
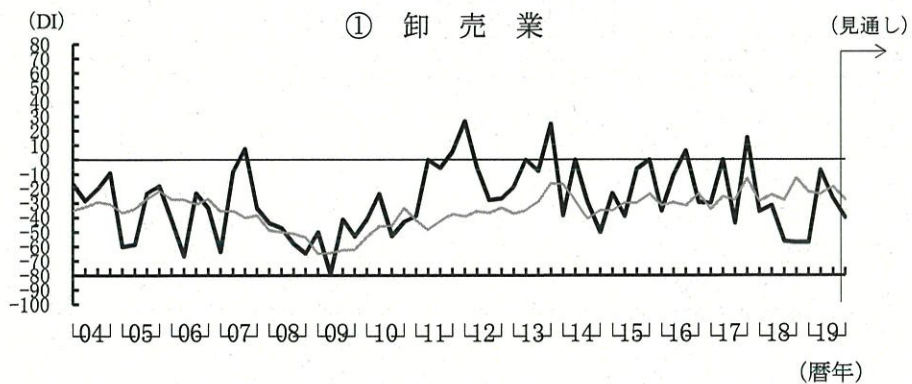
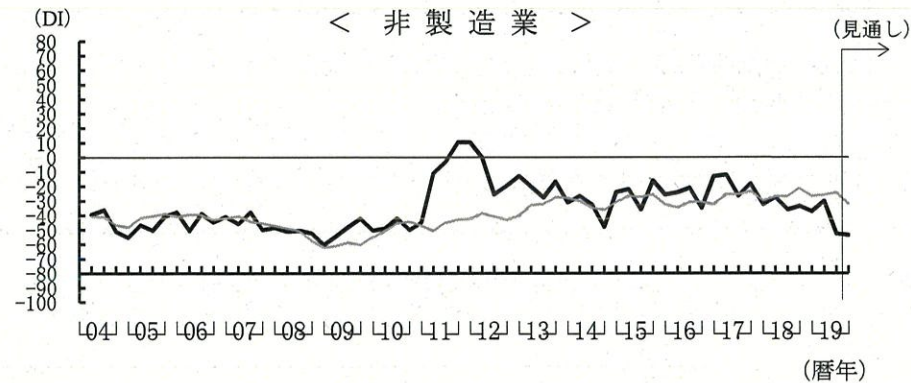
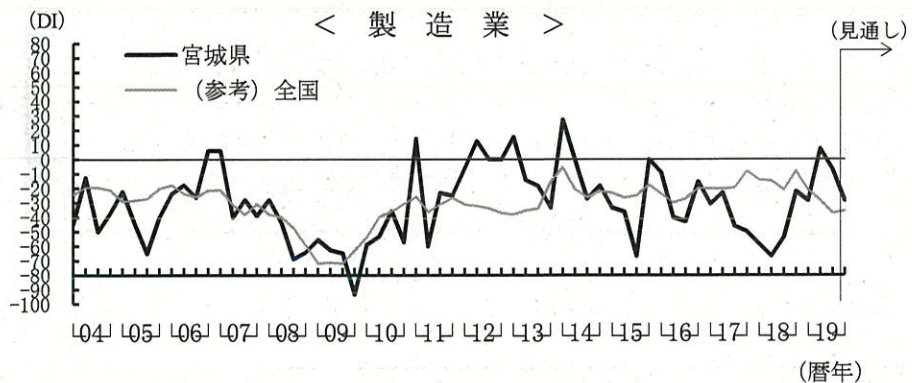
	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12
宮 城 県	▲ 38.1	▲ 32.6	▲ 36.2	▲ 24.7	▲ 46.7	▲ 50.5
(参 考) 全 国	▲ 25.6	▲ 19.3	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 32.4

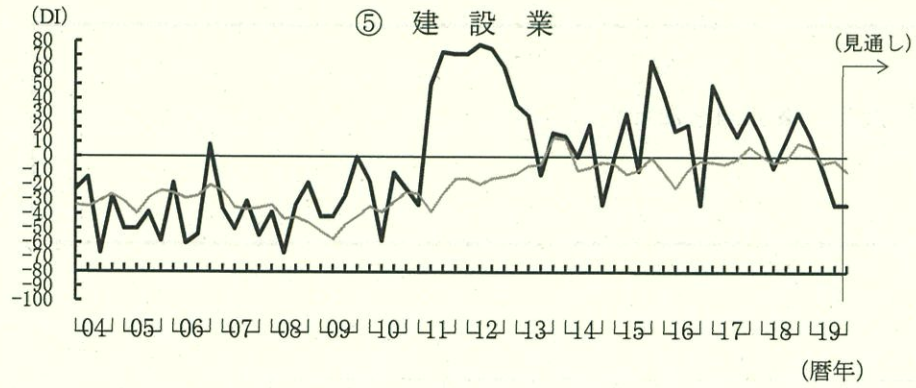


(注) 1 DIは「良い」企業割合－「悪い」企業割合。
 2 斜体は見通しの値を示している（以下同じ）。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

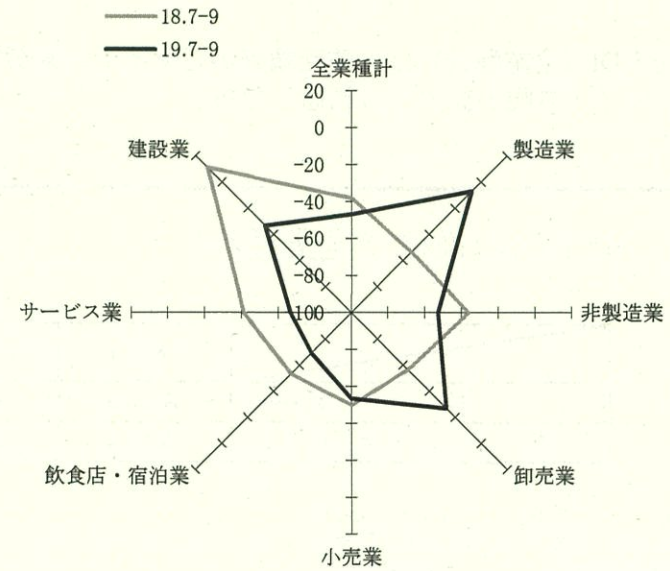
(暦年)

図-1-2 業況判断DIの推移 (業種別)





(参考1) 1年前との比較 (宮城県)



(参考2) 時系列データ (宮城県)

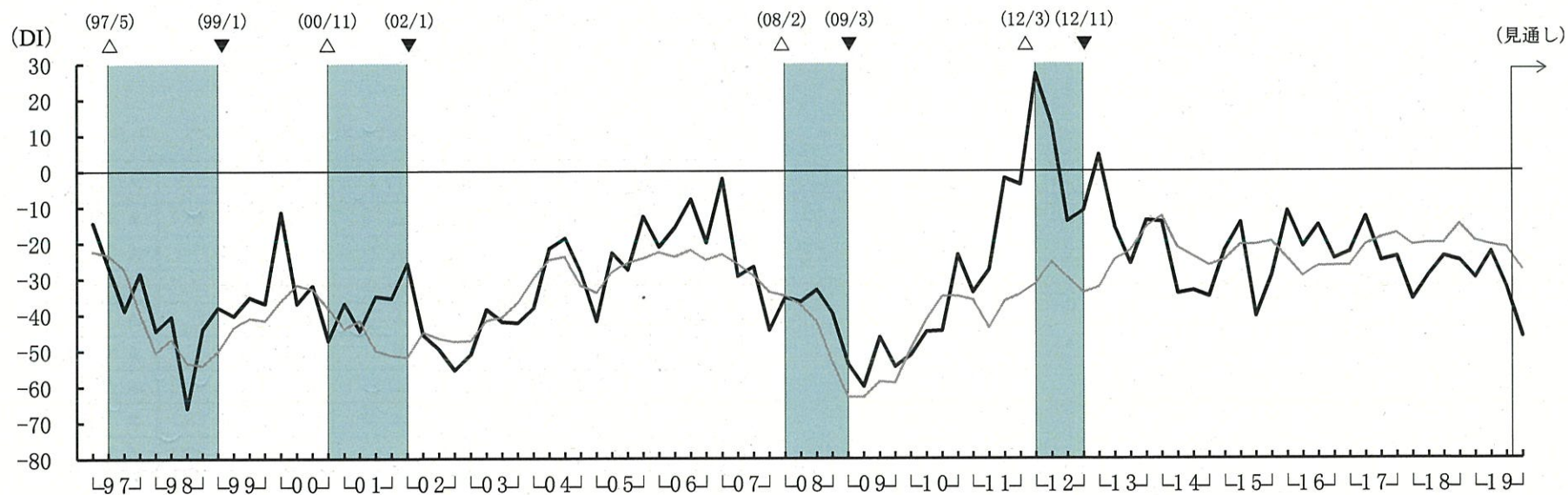
	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12
全業種計	▲ 38.1	▲ 32.6	▲ 36.2	▲ 24.7	▲ 46.7	▲ 50.5
製造業	▲ 53.8	▲ 22.2	▲ 28.6	7.1	▲ 7.1	▲ 28.6
非製造業	▲ 36.0	▲ 33.7	▲ 37.4	▲ 30.1	▲ 52.7	▲ 53.8
卸売業	▲ 56.3	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 7.1	▲ 26.7	▲ 40.0
小売業	▲ 50.0	▲ 52.4	▲ 41.7	▲ 47.8	▲ 53.6	▲ 65.5
飲食店・宿泊業	▲ 53.3	▲ 60.0	▲ 57.1	▲ 30.0	▲ 69.2	▲ 46.2
サービス業	▲ 41.2	▲ 17.6	▲ 41.2	▲ 31.3	▲ 66.7	▲ 61.1
建設業	11.1	30.8	14.3	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 33.3

2 売 上

- 今期の売上DI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が9.8ポイント拡大し、▲32.4となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－2 売上DIの推移（全業種計）

	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12
宮 城 県	▲ 23.9	▲ 25.0	▲ 29.8	▲ 22.6	▲ 32.4	▲ 46.1
(参 考) 全 国	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 21.3	▲ 27.5



(注) DIは前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

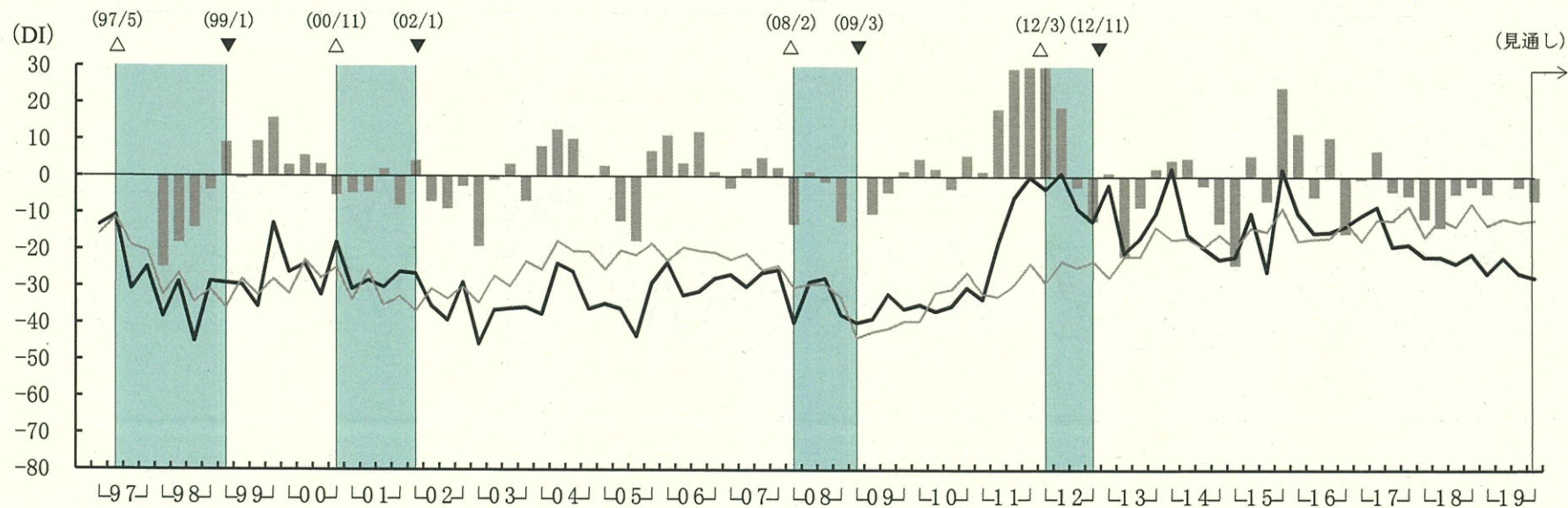
(暦年)

3 採算

- 今期の採算DI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が4.3ポイント拡大し、▲26.2となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-3 採算DIの推移（全業種計）

	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12
宮 城 県	▲ 23.4	▲ 20.9	▲ 26.2	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 27.4
前年同期実績との差	-4.5	-2.5	-4.4	-0.2	-2.7	-6.5
(参考) 全国	▲ 13.4	▲ 7.1	▲ 13.1	▲ 11.2	▲ 12.3	▲ 11.6



(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

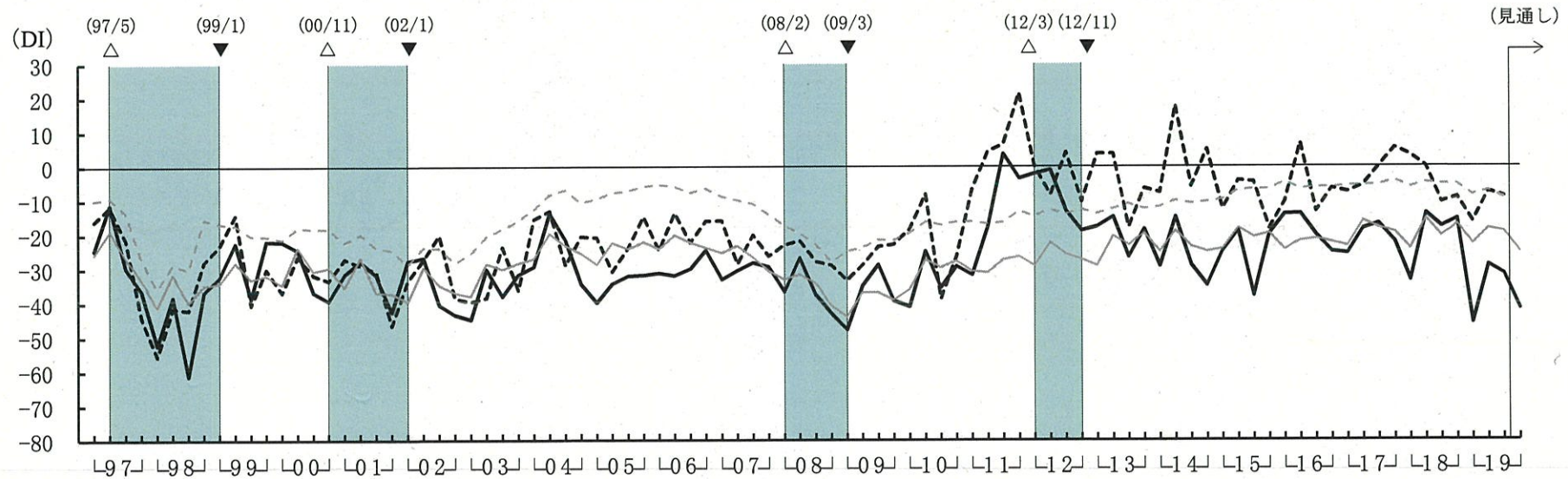
(暦年)

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が2.6ポイント拡大し▲31.5となった。来期はマイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査からマイナス幅が1.4ポイント拡大し▲8.8となった。

図-4 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12
資金繰りDI（宮城県）——	▲17.7	▲15.4	▲45.7	▲28.9	▲31.5	▲41.7
借入DI（宮城県）- - - -	▲10.5	▲9.1	▲16.2	▲7.4	▲8.8	-
（参考）資金繰りDI（全国）——	▲20.3	▲17.0	▲22.6	▲18.2	▲19.0	▲24.9
（参考）借入DI（全国）- - - -	▲5.3	▲5.1	▲8.3	▲7.1	▲9.1	-



- (注) 1 資金繰りDIは前期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合。
 2 借入DIは前期比で「容易になった」企業割合－「難しくなった」企業割合。

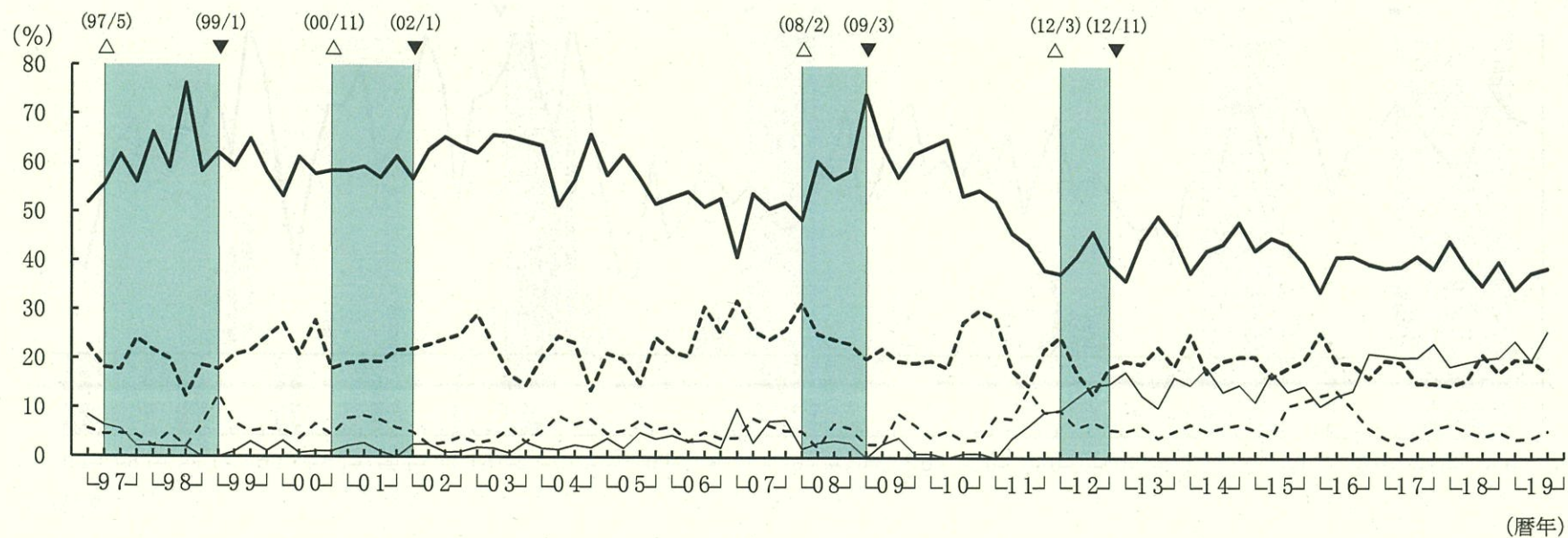
(暦年)

5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が38.9%と依然として最も多く、次いで「求人難」（25.9%）、「利益減少」（17.6%）の順となっている。

図-5 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
売上不振	35.4	40.2	34.6	37.9	38.9
利益減少	21.2	17.4	20.2	20.0	17.6
求人難	20.4	20.7	24.0	20.0	25.9
設備老朽化等	4.4	5.4	3.8	4.2	5.6



6 設備投資

○ 設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前回調査から1.2ポイント拡大し6.5%となった。

図－6 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
宮 城 県	14.5	13.0	9.5	5.3	6.5
前年同期実績との差	1.0	-1.1	-1.4	-5.1	-8.0
(参 考) 全 国	12.6	12.7	11.2	11.8	13.6

